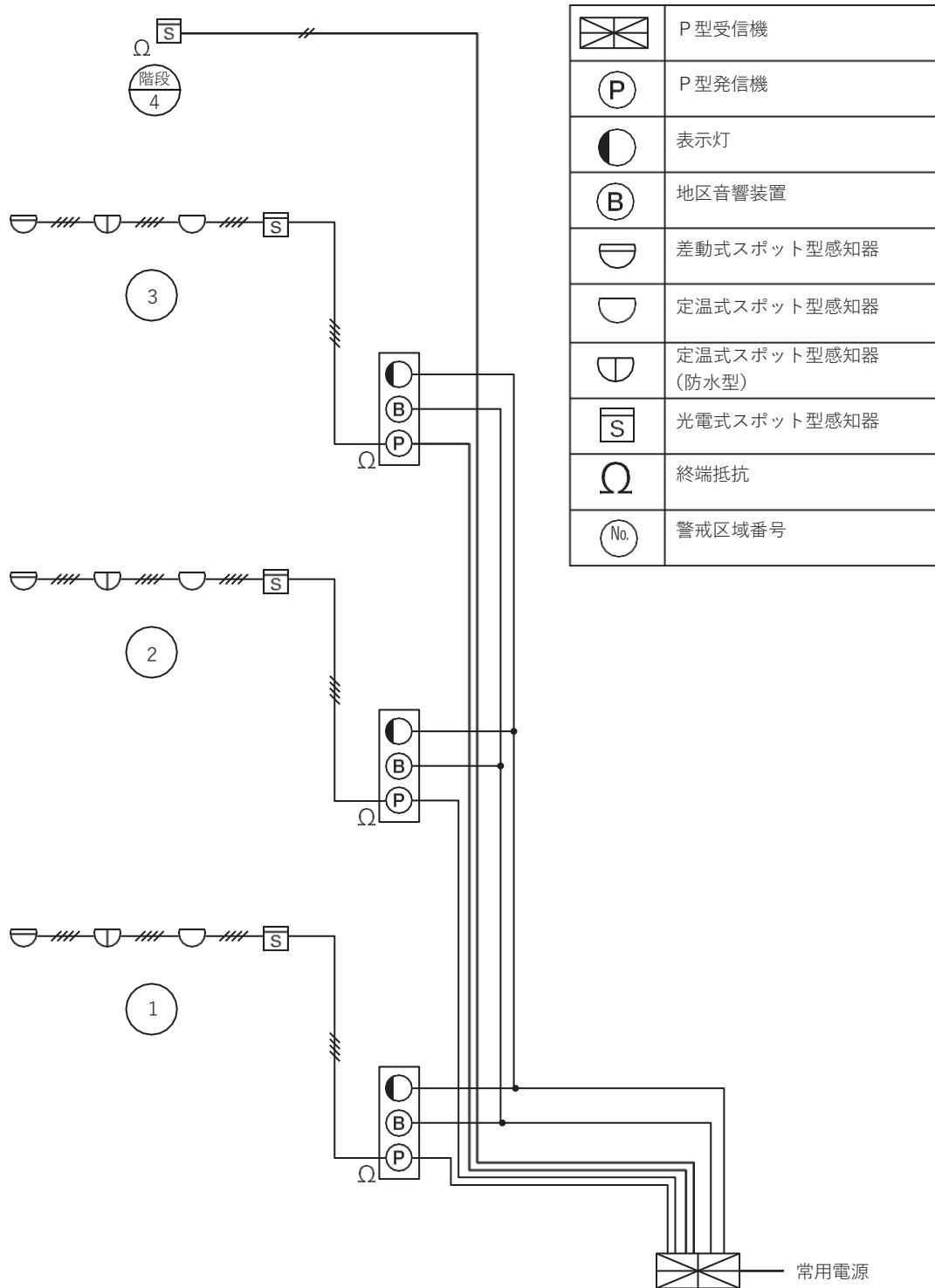
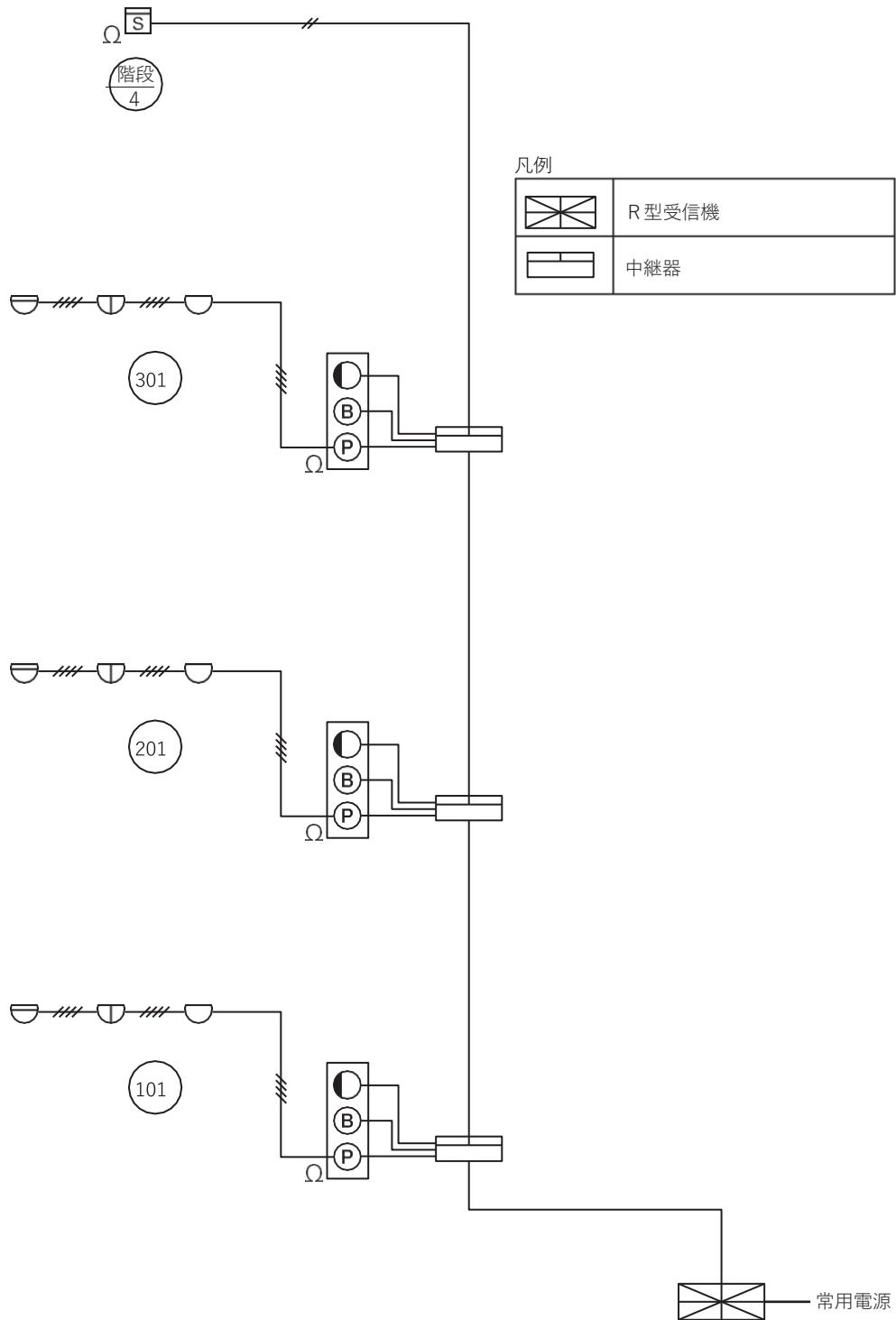


(P型受信機を用いる方式のもの)



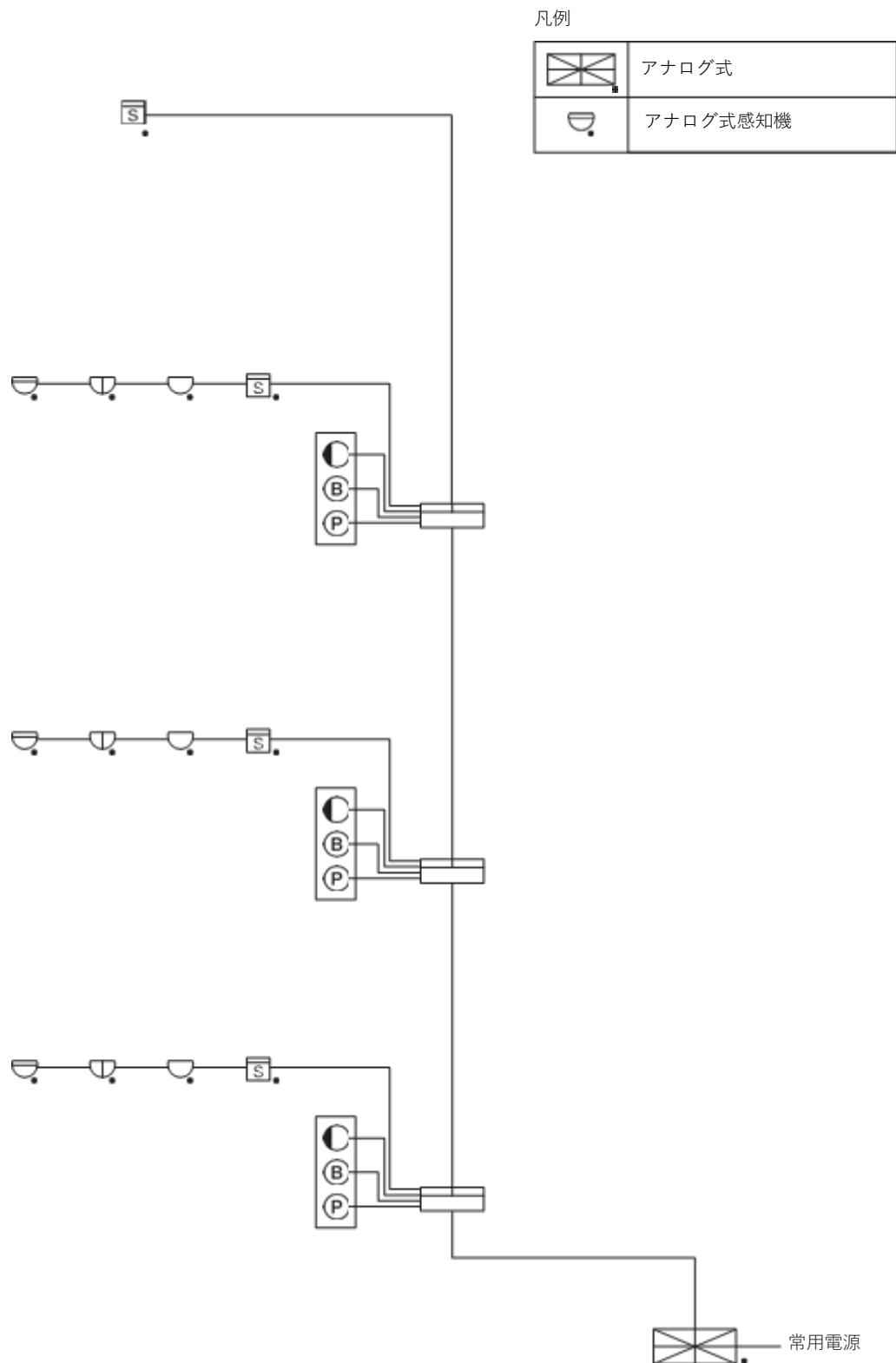
第10-1 図

(R型受信機を用いる方式のもの)

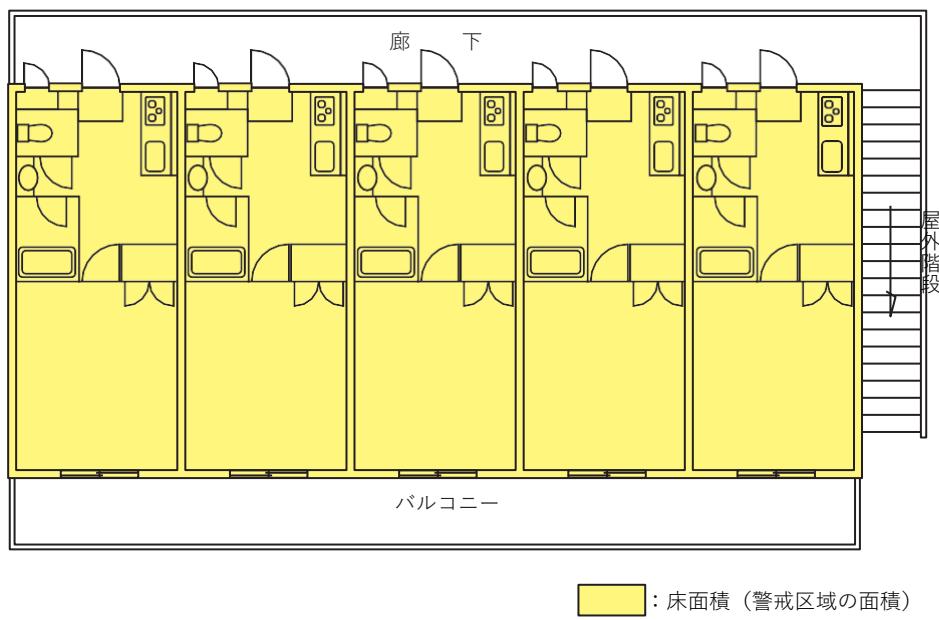


第 10-2 図

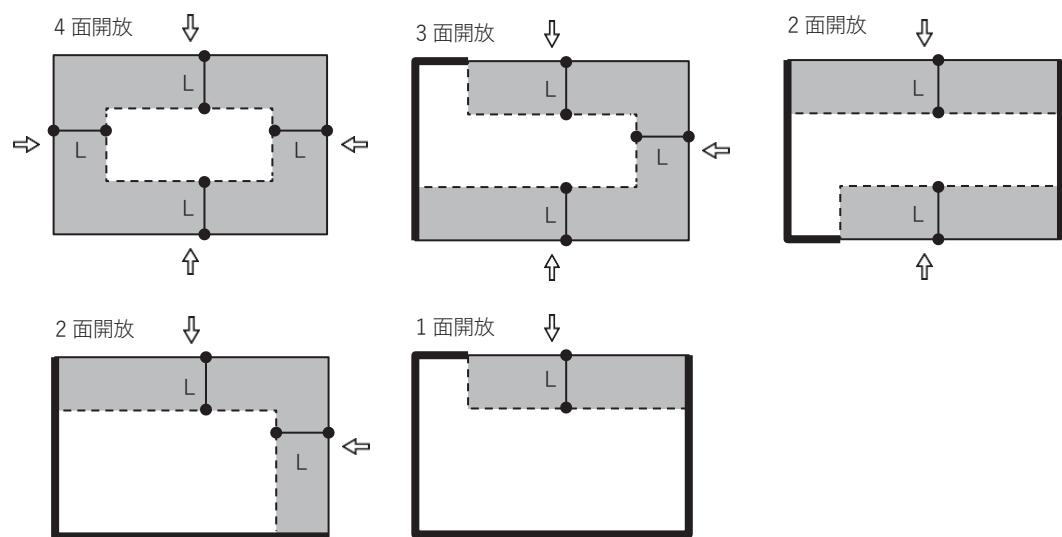
(アナログ式受信機を用いる方式のもの)



第 10-3 図

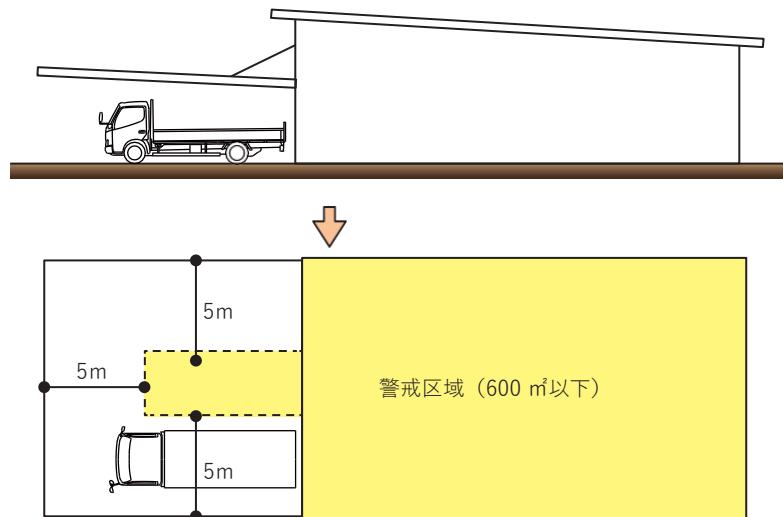


第 10-4 図

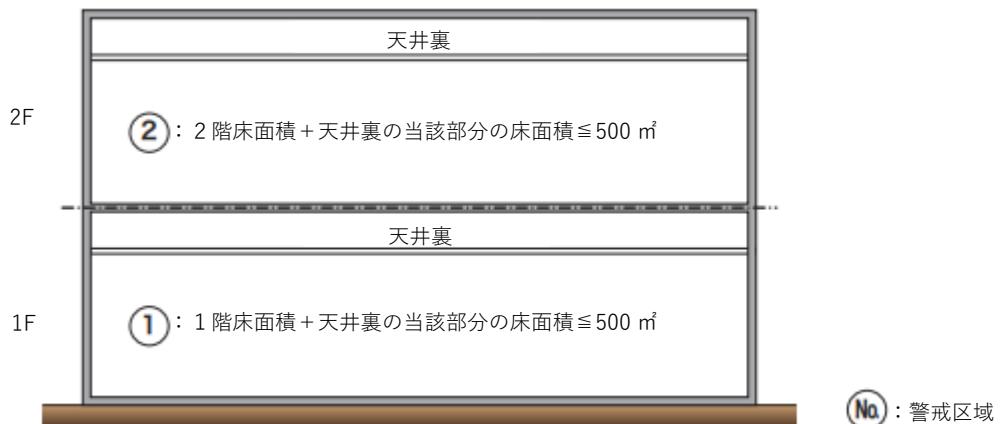


〔L : 外気に面する 5m 未満の場所 () の部分) の例〕

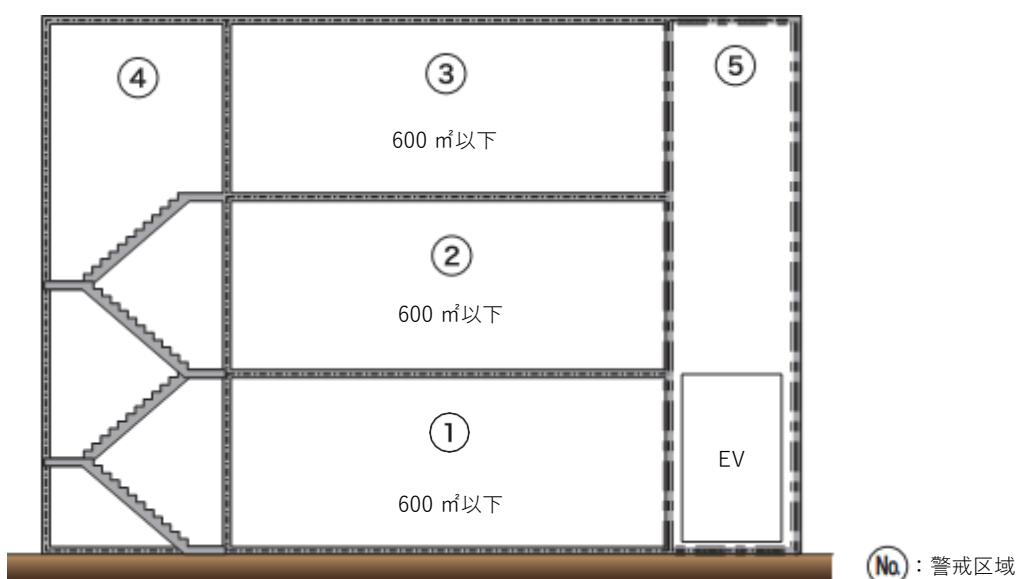
第 10-5 図



第 10- 6 図

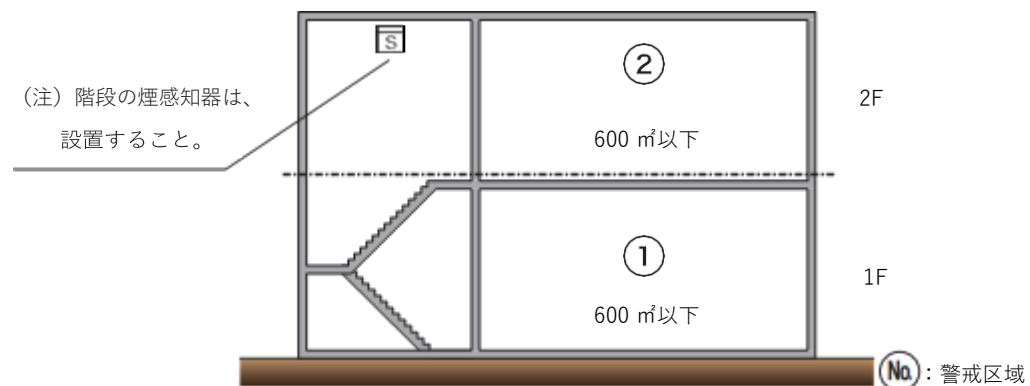


第 10- 7 図

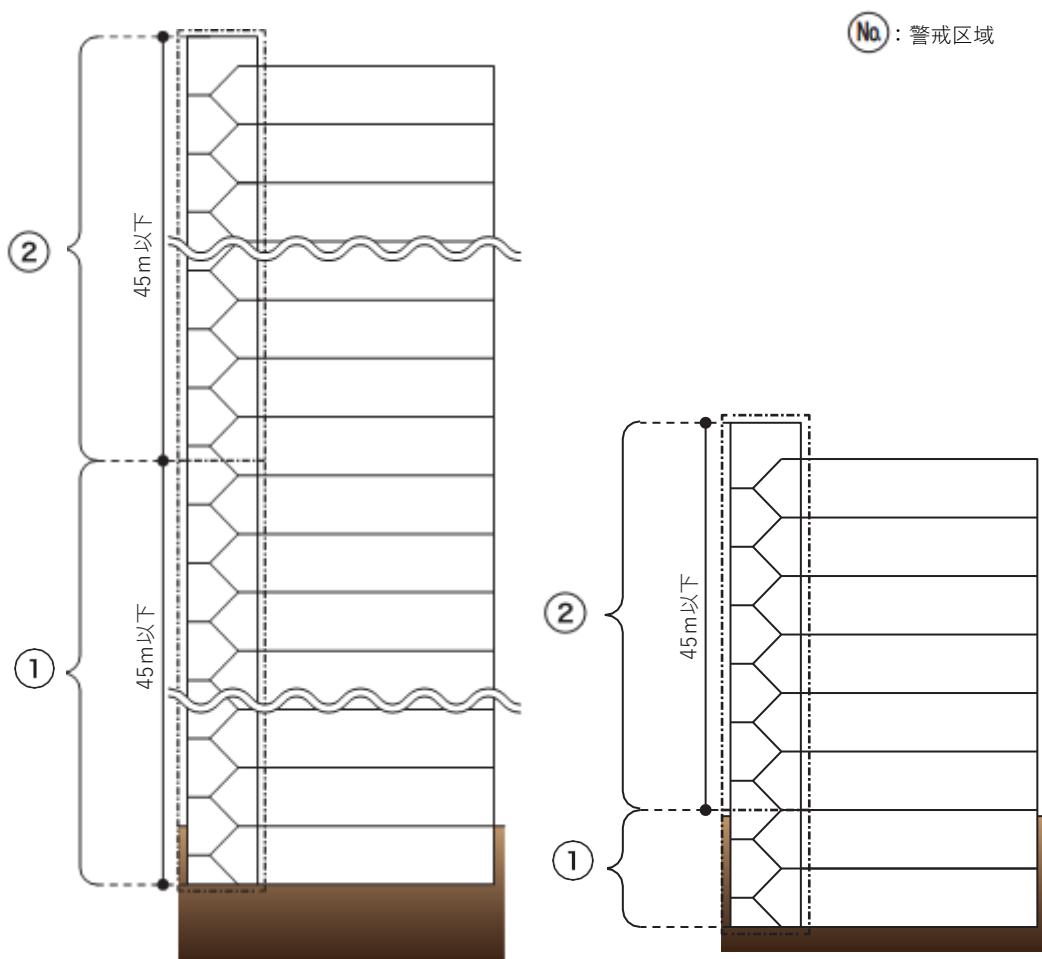


第 10- 8 図

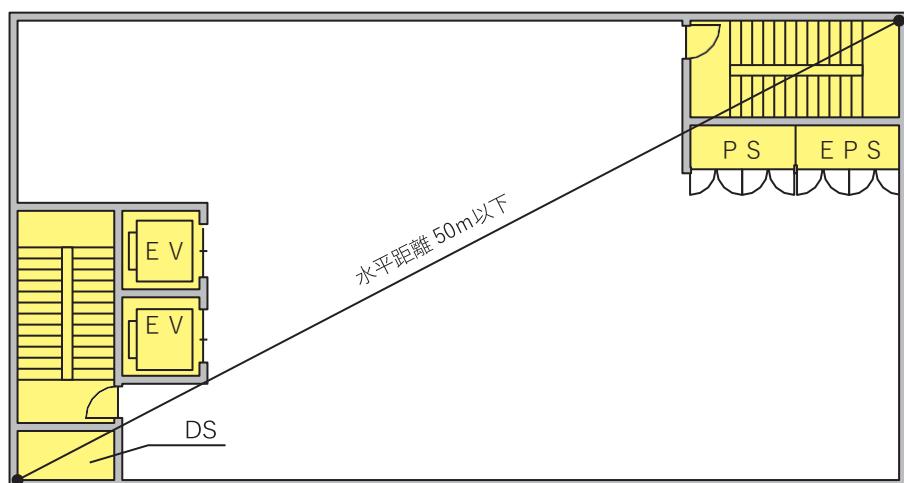
階数が2の場合の警戒区域の設定例)



第 10- 9 図

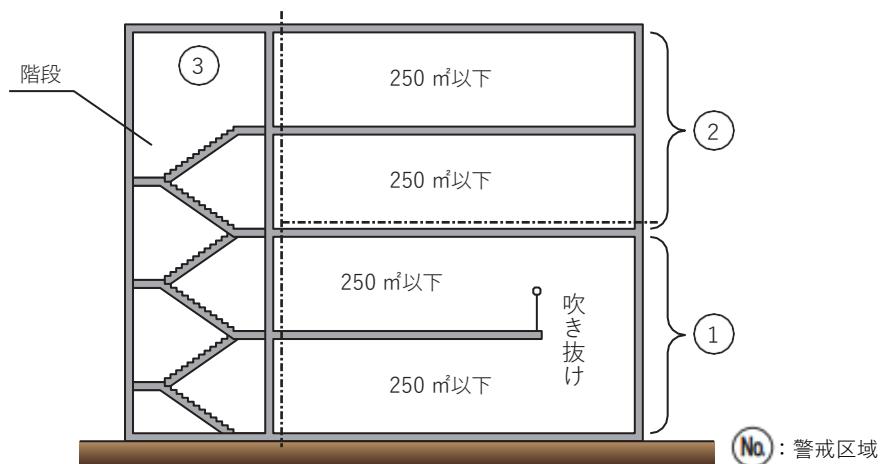


第 10- 10 図

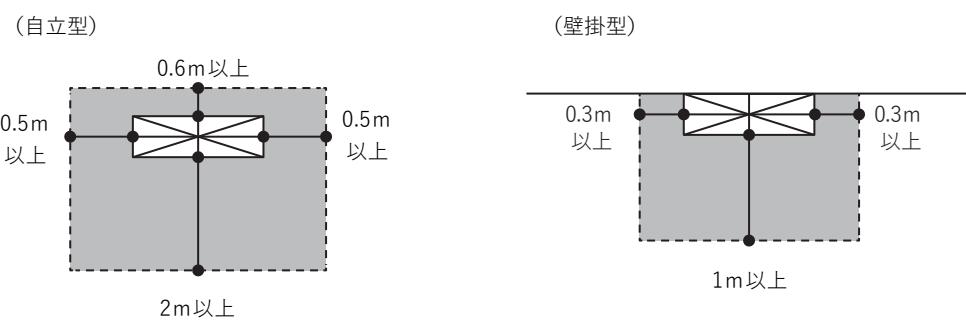


■ : 縦方向に抜けた部分 (同一の警戒区域とすることができる。)

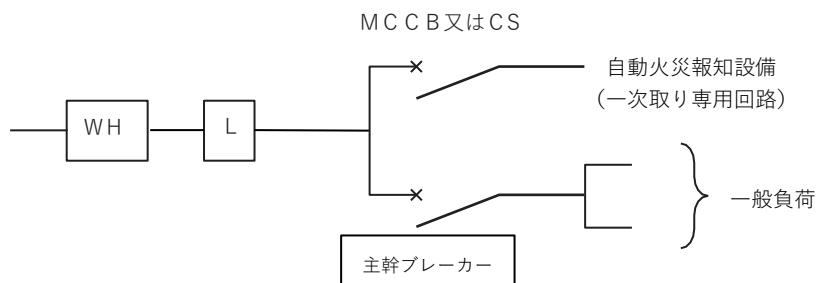
第 10-11 図



第 10-12 図



第 10-13 図



凡例

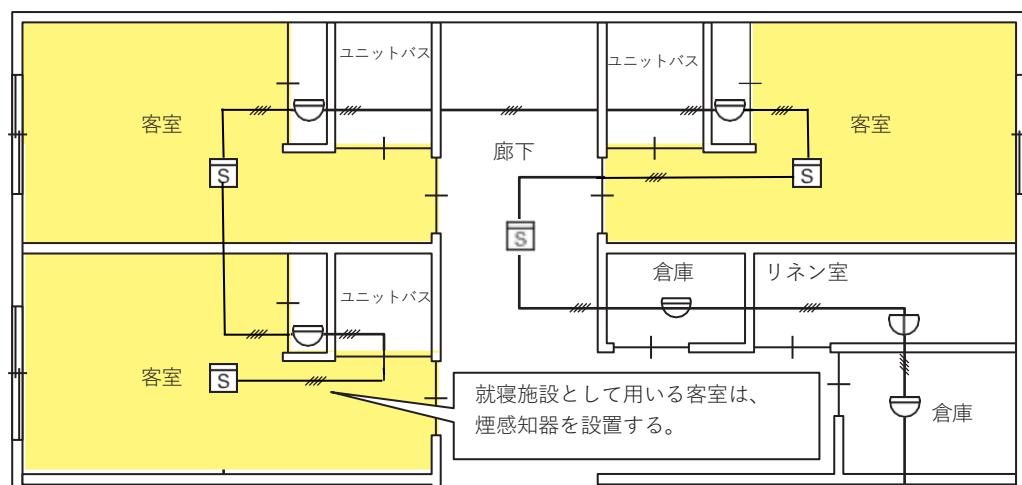
WH	電力需給用計量器	MCCB	配線用遮断器
L	電流制限器	CS	カットアウトスイッチ（ヒューズ付）

第 10-14 図



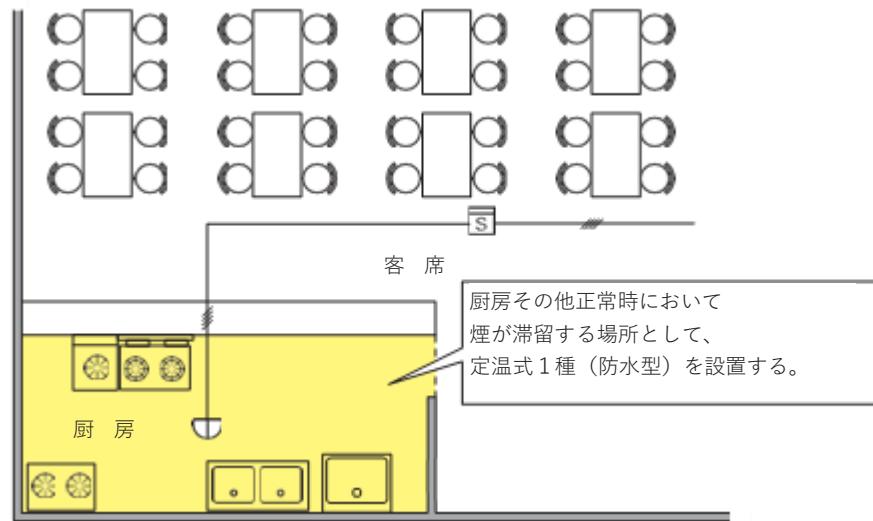
第 10-15 図

(例 1) (5)項イに掲げる防火対象物（無窓階以外の階）



第 10-16 図

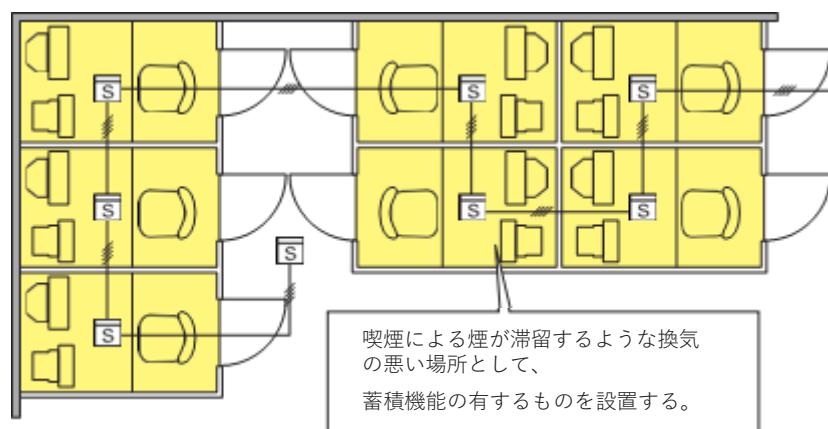
(例 2) (3)項口に掲げる防火対象物（無窓階）の厨房



第 10-17 図

(例 3) (2)項ニに掲げる防火対象物の個室（無窓階以外の階）

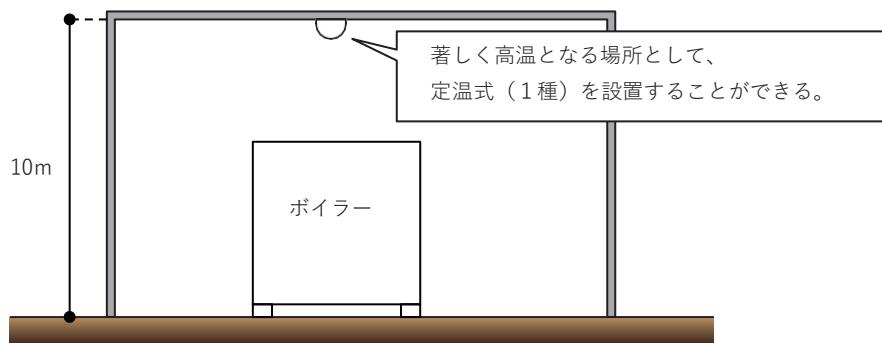
省令第 23 条第 5 項第 3 号の 2 の規定により、
煙感知器又は熱煙複合式スポット型感知器を設けなければならない。



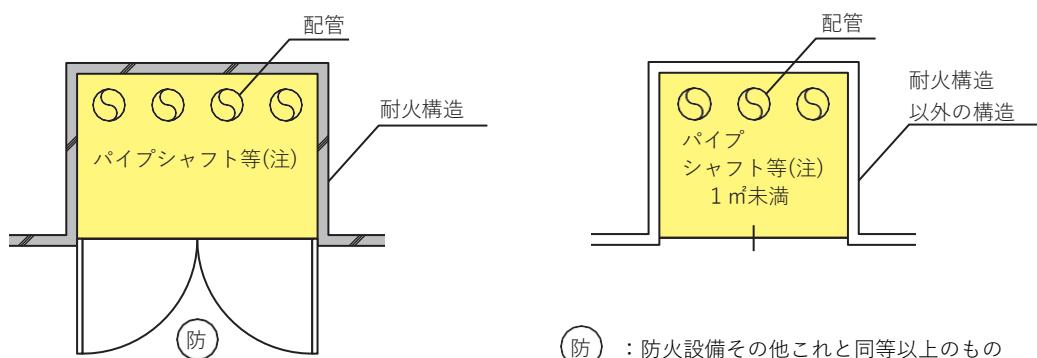
第 10-18 図

(例4) (12)項イに掲げる防火対象物（無窓階以外の階）

省令第23条第4項第2号の規定により、取付け面の高さが8m以上15m未満の場合、
差動式分布型、イオン化式スポット型1種若しくは2種又は光電式スポット型1種
若しくは2種を設けなければならない。



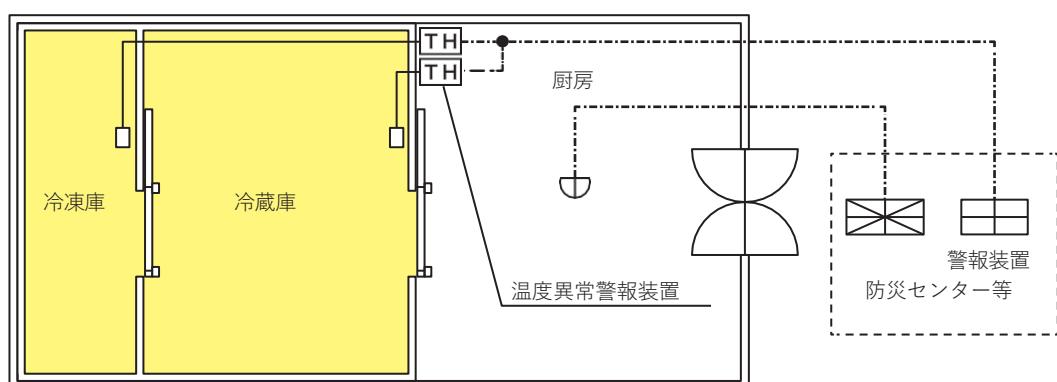
第10-19図



(注)電気配線シャフトのうち配電盤若しくは分電盤が設けられているもの又は可燃物の収納により出火危険がある部分を除く。

第10-20図

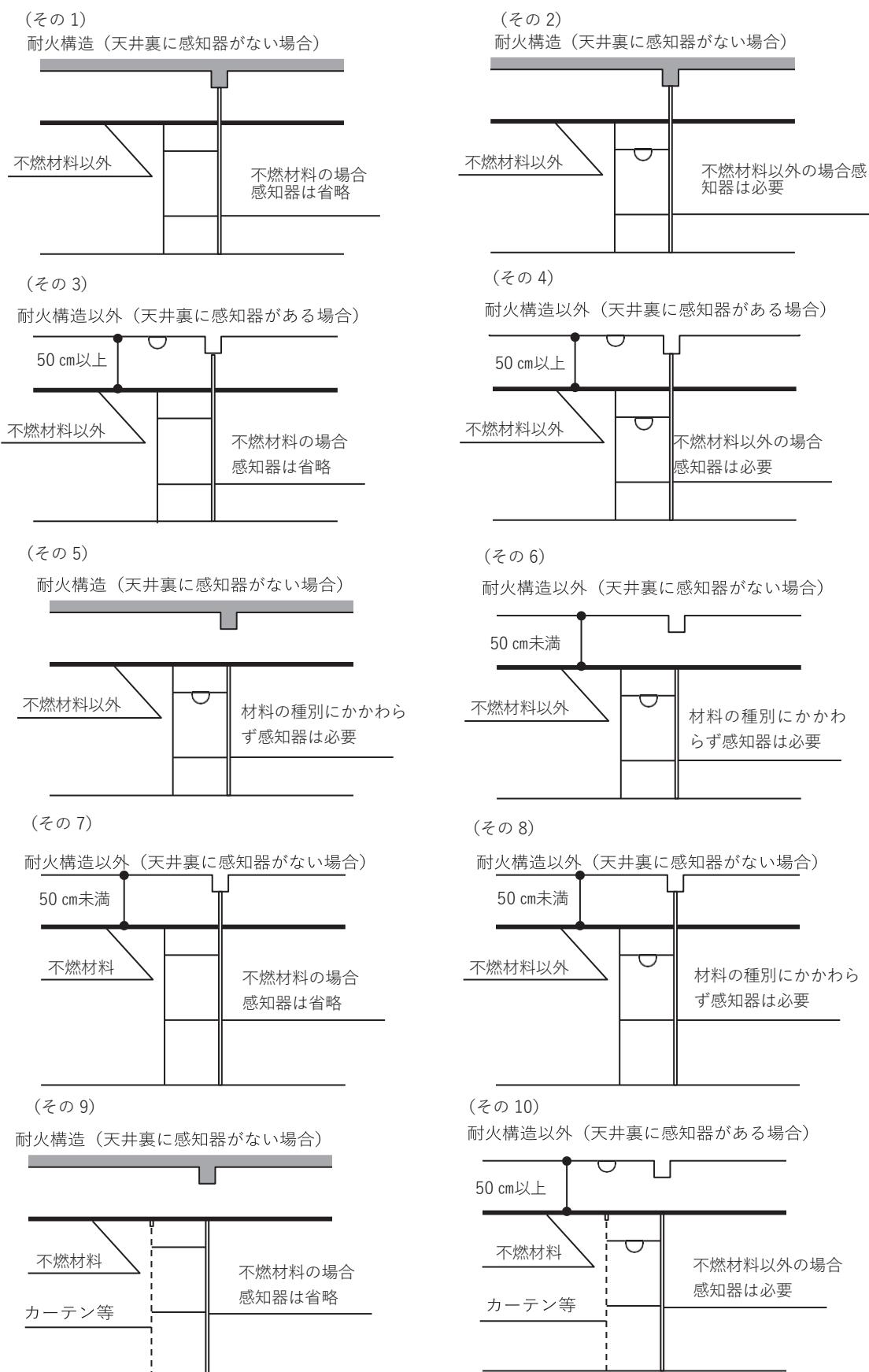
第10-21図



第10-22図

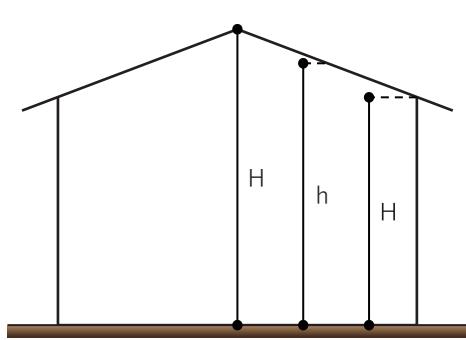
第4章 消防用設備等の技術基準

第10 自動火災報知設備

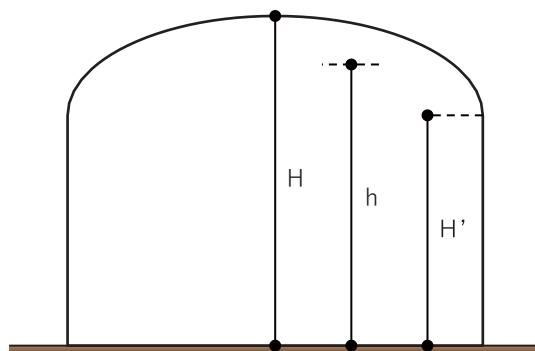


第 10-23 図

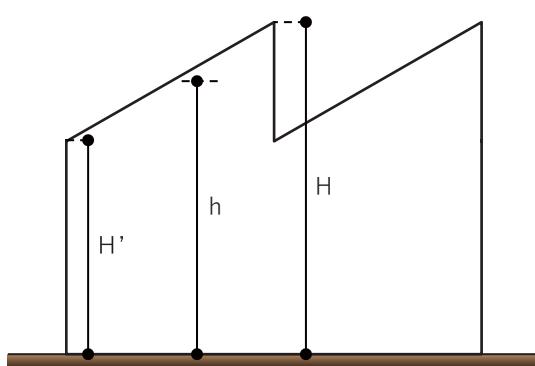
(その1) 傾斜形天井等の例



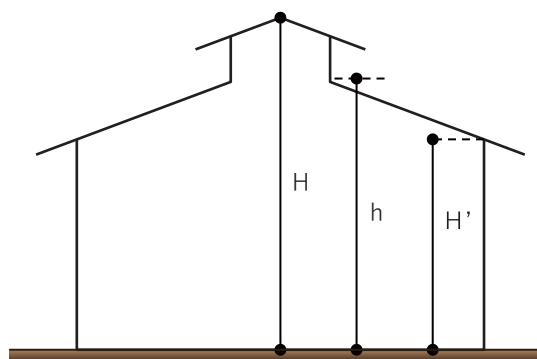
(その2) アーチ、ドーム形の天井等の例



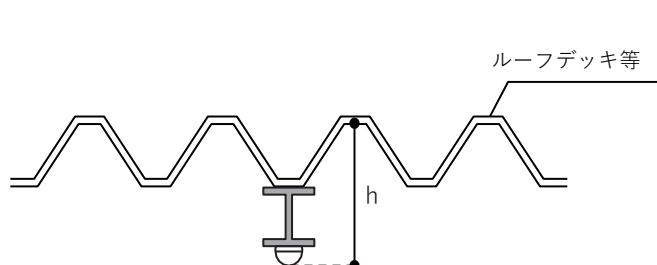
(その3) のこぎり形天井等の例



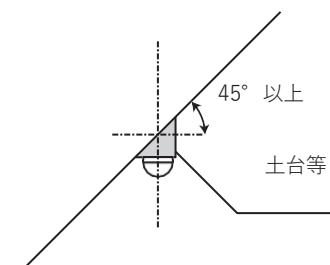
(その4) 越屋根天井等の例



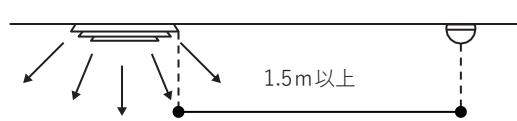
第10-24図



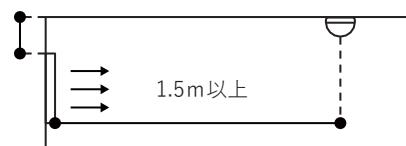
第10-25図



第10-27図



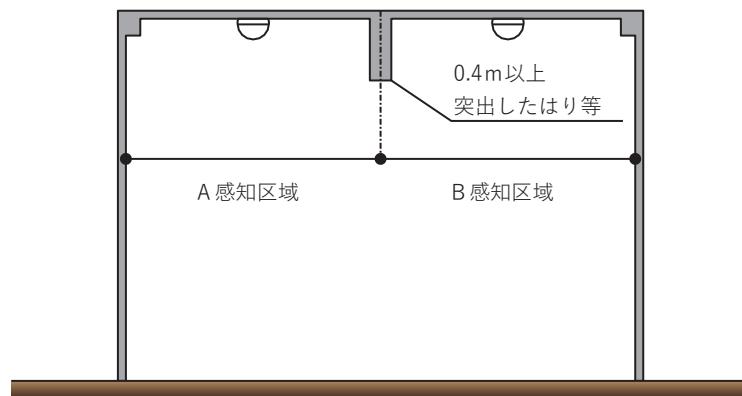
第10-26図



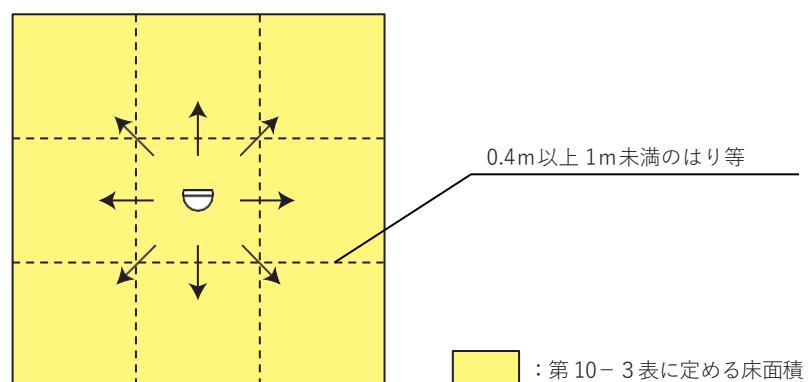
aの距離が1m以上の場合は状況により1.5m以内とすることができます。



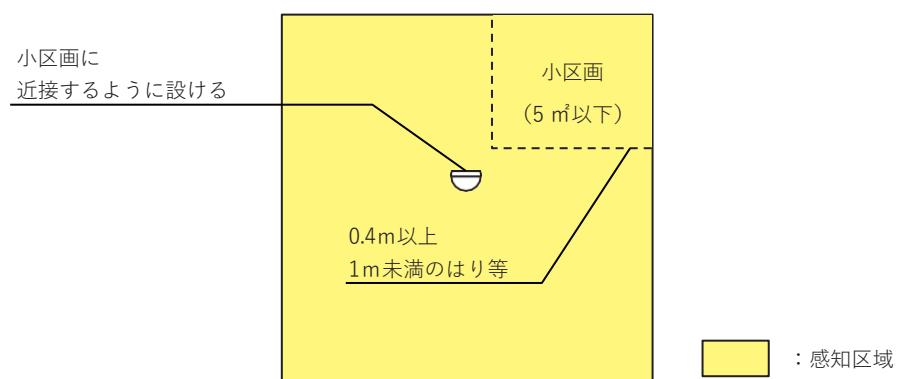
第 10-28 図



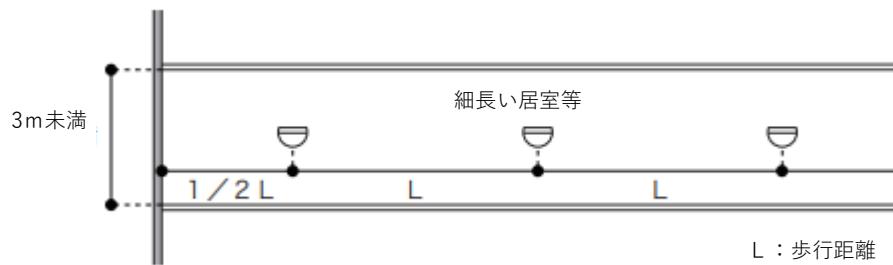
第 10-29 図



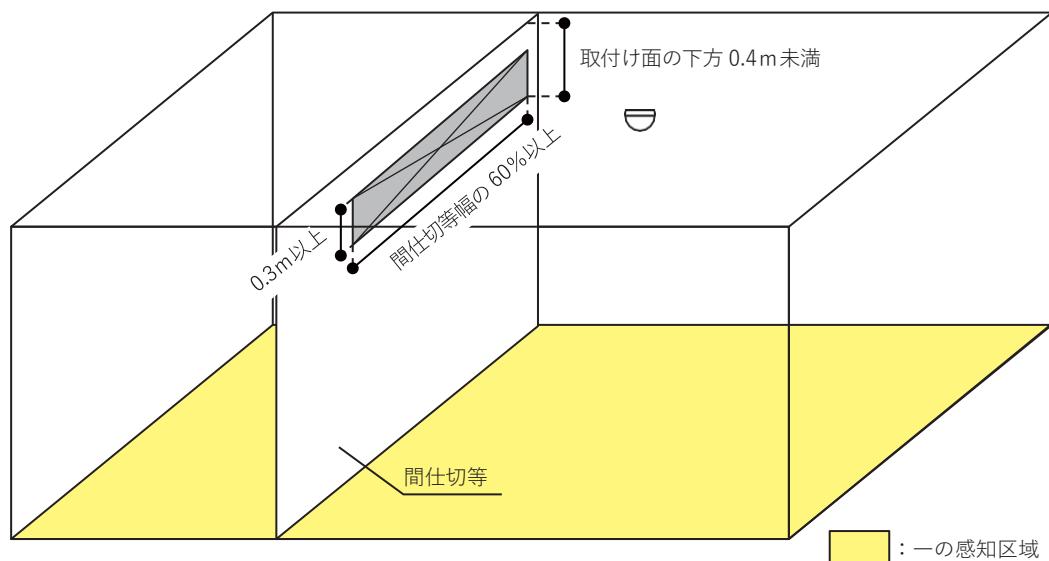
第 10-30 図



第 10-31 図

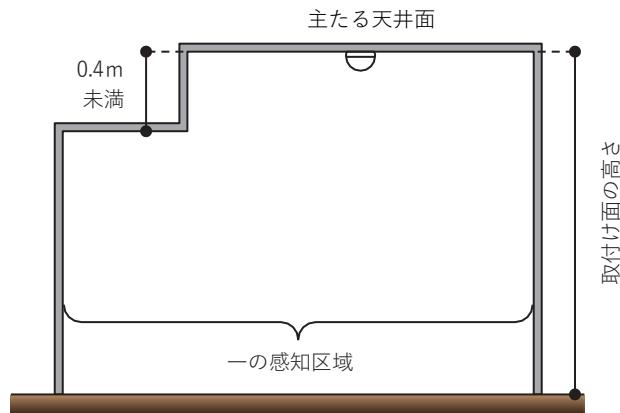


第 10-32 図

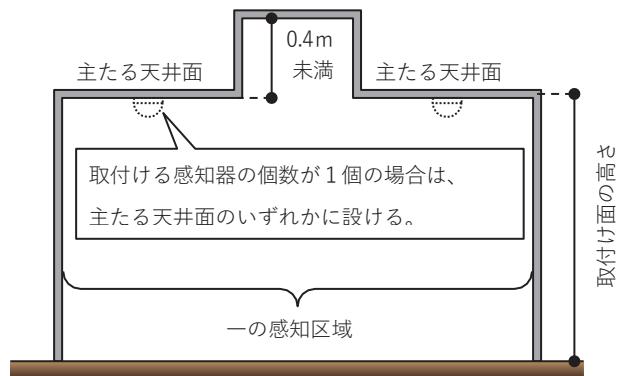
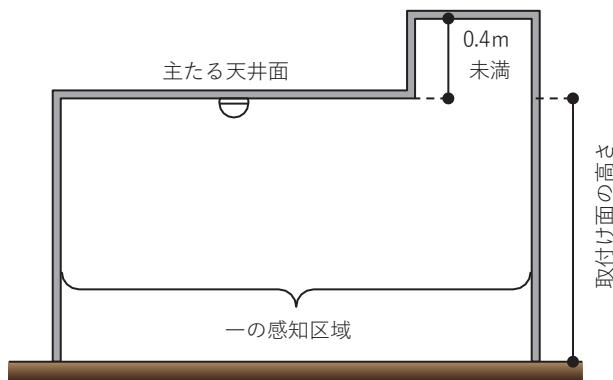


第 10-33 図

(主たる天井面が高い場合の例)



(主たる天井面が低い場合の例)



第 10-34 図